

www.hightouch.jp

H  
I  
G  
H  
.  
T  
O  
U  
C  
H  
W  
A  
L  
L

安全で快適な暮らしの基礎を築く

宅地造成等規制法施行令第14条 国土交通大臣認定

ハイ・タッチウォール (耐震型)

大地震  $kh=0.25$

一般社団法人 ハイタッチセンター

## はじめに

ハイ・タッチウォールは、コンクリート二次製品であることによる「品質と信頼」、迅速な工事が行える「施工性」、これらによる宅地供給への「スピード」、そして宅地所有者に「安心」を提供できるものです。

高さ3m以下の宅地擁壁は、日本各地のプレキャスト製品メーカーが、地元の個性と地元の産業振興に応じて個別に国土交通大臣認定擁壁を製造販売しています。

高さ3mを超える宅地擁壁は、全国统一規格とし、利用者の使いやすさ、統一され安定した品質、どこの工場からも同一製品を供給できるという優位性を持った「ハイ・タッチウォール」として、一般社団法人ハイタッチセンターが規格化しました。

ハイ・タッチウォールは、宅地造成等規制法施行令第14条による国土交通大臣認定を取得した、宅地造成用のプレキャストL型擁壁です。

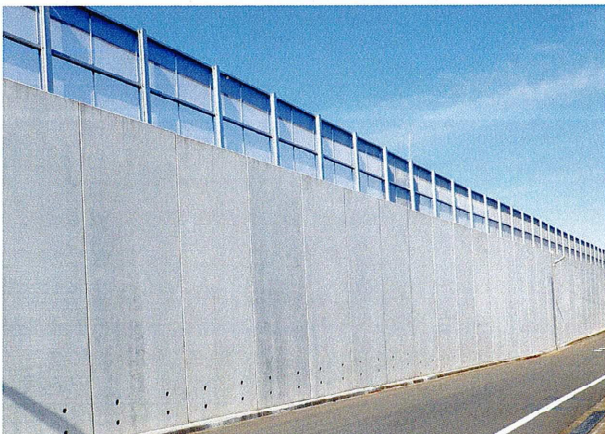
## 大規模地震動とは

### 大規模地震動とは……

#### ●大地震(大規模地震動)

発生確率は低いが直下またはプレート境界で発生する地震を想定した高いレベルの地震動で、一般に震度6～7程度を想定しています。標準設計水平震度 $k_0 = 0.25$ に地域係数 $Z$ を乗じて求めます。

「宅地防災マニュアルの解説」より引用



## ハイ・タッチウォールの特長

プレキャストL型擁壁の「ハイ・タッチウォール」は、以下のような特長を有しています。

- 宅地擁壁で高さ5mまでの一体構造で大臣認定を受けたプレキャストL型擁壁です。
- 設計水平震度は、中地震  $kh = 0.20$  用、大地震  $kh = 0.25$  用で対応しています。
- 現・国立研究開発法人建築研究所で耐震実験等を行い、地震時の挙動や耐力を解析し、その結果を反映した高品質・高性能の製品です。
- 大臣認定擁壁製造工場認証を受け、品質管理の徹底された工場で製造されます。
- 全国各地の会員各社が統一した製品を供給する事ができます。
- 前壁にデザインを施すことも可能なため、「個性」と「調和」を選ぶことができます。
- 機械施工により省力化と工期の短縮が図れます。
- フェンスを前壁天端に一体化して設置できます。
- 前壁がほぼ垂直であるので宅地の有効利用ができます。
- 擁壁背面の土質は、内部摩擦角が  $\phi = 25^\circ$  以上と  $\phi = 30^\circ$  以上の2種類から選定できます。
- 擁壁背面の土の単位体積重量は  $\gamma_t = 16 \sim 19 \text{ kN/m}^3$  の範囲に対応できます。
- 製造工場は、ハイタッチセンターの会員として全国にネットワーク化されています。

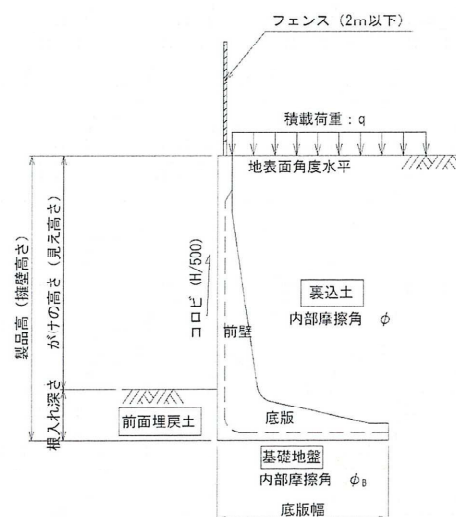
ハイ・タッチウォール（耐震型）には2タイプあります。

### ① HTタイプ（High-Touch WallのHT）

- 裏込め土  $\phi \geq 30^\circ$  の比較的良質な地盤が必要です。
- 中地震対応と大地震対応兼用タイプです。
- 基礎地盤は  $\phi_B \geq 30^\circ$  の地盤が必要です。
- 積載荷重は  $10 \text{ kN/m}^2$  及び  $15 \text{ kN/m}^2$  対応です。

### ② HWタイプ（High-Touch WallのHW）

- 裏込め土  $\phi \geq 25^\circ$  の一般的な地盤が必要です。
- 中地震対応と大地震対応の2つに規格に分かれています。
- 製品高さ  $H$  が3mを超え4m以下は、基礎地盤が  $\phi_B \geq 25^\circ$  の地盤が必要です。
- 製品高さ  $H$  が4mを超えるものは、基礎地盤が  $\phi_B \geq 30^\circ$  の地盤が必要です。
- 積載荷重は  $10 \text{ kN/m}^2$  対応です。



### ご注意

一般的な地盤用のHWタイプの  $\phi = 25^\circ$  以上用は、擁壁背面の「裏込め土」の内部摩擦角  $\phi$  と、擁壁底面下にある「基礎地盤」の内部摩擦角  $\phi_B$  を分けていますのでご注意ください。



## 擁壁の基本条件

### ■ HTタイプ：比較的良質地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi = 30^\circ$ 以上用（国都防第88号）

項目	長期		短期	
	常時	フェンス荷重時	中地震時	大地震時
地表面の勾配	LEVEL			
積載荷重（積雪荷重）	$q = 10\text{kN/m}^2$ 及び $15\text{kN/m}^2$ （積雪荷重を含む）			
裏込め土の内部摩擦角 $\phi$	$\phi \geq 30^\circ$			
裏込め土の単位体積重量	$\gamma_t = 16 \sim 19\text{kN/m}^3$			
基礎地盤の内部摩擦角 $\phi_B$	$\phi_B \geq 30^\circ$			
滑動摩擦係数	$\mu = \tan \phi_B$ ( $\mu \leq 0.6$ ) $\phi_B = 30^\circ$ の場合 $\mu = 0.577$			
必要根入れ深さ Df	岩盤に設置する場合を除き、Df = 35cm 以上かつ見え高さの 15/100 以上			
安定計算用の壁面摩擦角（主働土圧）	$\delta = \phi/2$		$\delta = \phi$	
安定計算用の壁面摩擦角（受働土圧）	—		$\delta = 0$	
断面計算用の壁面摩擦角（主働土圧）	$\delta = \phi/2$		$\delta = \phi/2$	
地域係数 Z <sup>(注1)</sup>	—	—	1.0	
設計水平震度 kh	—	—	0.25	
設計鉛直震度 kv	—	—	Kv = 0	
土圧の算定式	クーロン		物部・岡部の式	
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c = 24.0\text{kN/m}^3$			
フェンス荷重	作用高さ Hf = 1.10m 作用荷重 Pf = 1.0kN/m			

### ■ HWタイプ：一般的な地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi = 25^\circ$ 以上用（国都防第17号）

項目	長期		短期	
	常時	フェンス荷重時	中地震時	大地震時
地表面の勾配	LEVEL			
積載荷重（積雪荷重）	$q = 10\text{kN/m}^2$ （積雪荷重を含む）			
裏込め土の内部摩擦角 $\phi$	$\phi \geq 25^\circ$			
裏込め土の単位体積重量	$\gamma_t = 16 \sim 19\text{kN/m}^3$			
基礎地盤の内部摩擦角 $\phi_B$ <sup>(注2)</sup>	製品高さ H $3.0\text{m} < H \leq 4.0\text{m}$ $\phi_B \geq 25^\circ$ 製品高さ H $4.0\text{m} < H \leq 5.0\text{m}$ $\phi_B \geq 30^\circ$			
滑動摩擦係数	$\mu = \tan \phi_B$ ( $\mu \leq 0.6$ ) $\phi_B = 25^\circ$ の場合 $\mu = 0.466$ $\phi_B = 30^\circ$ の場合 $\mu = 0.577$			
必要根入れ深さ Df	$\phi$ 及び $\phi_B \geq 25^\circ$ の場合、Df = 45cm 以上かつ見え高さの 20/100 以上 $\phi$ 及び $\phi_B \geq 30^\circ$ の場合、Df = 35cm 以上かつ見え高さの 15/100 以上			
安定計算用の壁面摩擦角（主働土圧）	$\delta = \phi/2$		$\delta = \phi$	
安定計算用の壁面摩擦角（受働土圧）	—		$\delta = 0$	
断面計算用の壁面摩擦角（主働土圧）	$\delta = \phi/2$		$\delta = \phi/2$	
地域係数 Z <sup>(注1)</sup>	—	—	1.0	
設計水平震度 kh	—	—	0.25	
設計鉛直震度 kv	—	—	Kv = 0	
土圧の算定式	クーロン		物部・岡部の式	
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c = 24.0\text{kN/m}^3$			
フェンス荷重	作用高さ Hf = 1.1m 作用荷重 Pf = 1.0kN/m			

注1：建築基準法施行令第88条1項による地域係数

注2：製品高さHが4000を超える場合は、基礎地盤の内部摩擦角  $\phi_B \geq 30^\circ$  として下さい。

## 設計条件と呼び名の対照表

### ■ HTタイプ：比較的良質地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi = 30^\circ$ 以上用（国都防第88号）

HTタイプの諸条件	
裏込め土の土質	$\gamma_t = 16 \sim 19 \text{ kN/m}^3$ $\phi \geq 30^\circ$
積載荷重（雪荷重含む）	$q = 10 \text{ kN/m}^2$ 又は $q = 15 \text{ kN/m}^2$
地震動のタイプ	HTⅢ大地震 $kh = 0.25$
基礎地盤の土質	$\phi_B \geq 30^\circ$
製品高さ H (mm)	呼び名（兼） <sup>(注1)(注2)</sup>
3,250	HT3250
	HT3250 兼
3,500	HT3500
3,750	HT3750
	HT3750 兼
4,000	HT4000
4,250	HT4250
	HT4250 兼
4,500	HT4500
4,750	HT4750
	HT4750 兼
5,000	HT5000

注1：呼び名の「兼」は直近上位の擁壁の型枠を兼用する場合を示します。

注2：HTタイプは、設計上Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに分類していますが、形状・配筋が同一のため、呼び名を「HT」と統一しました。

### ■ HWタイプ：一般的な地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi = 25^\circ$ 以上用（国都防第17号）

HWタイプの諸条件		
裏込め土の土質	$\gamma_t = 16 \sim 19 \text{ kN/m}^3$ $\phi \geq 25^\circ$	
積載荷重（雪荷重含む）	$q = 10 \text{ kN/m}^2$	
地震動のタイプ	HWⅢ大地震 $kh = 0.25$	
基礎地盤の土質 <sup>(注2)</sup>	$\phi_B \geq 25^\circ$	$\phi_B \geq 30^\circ$
製品高さ H (mm) <sup>(注3)</sup>	呼び名（兼） <sup>(注1)</sup>	
3,250	HW3250	
	HW3250 兼	
3,500	HW3500	
3,750	HW3750	
	HW3750 兼	
4,000	HW4000	
4,250 <sup>(注4)</sup>	—	HW4250
4,500	—	HW4500
4,750	—	HW4750
	—	HW4750 兼
5,000	—	HW5000

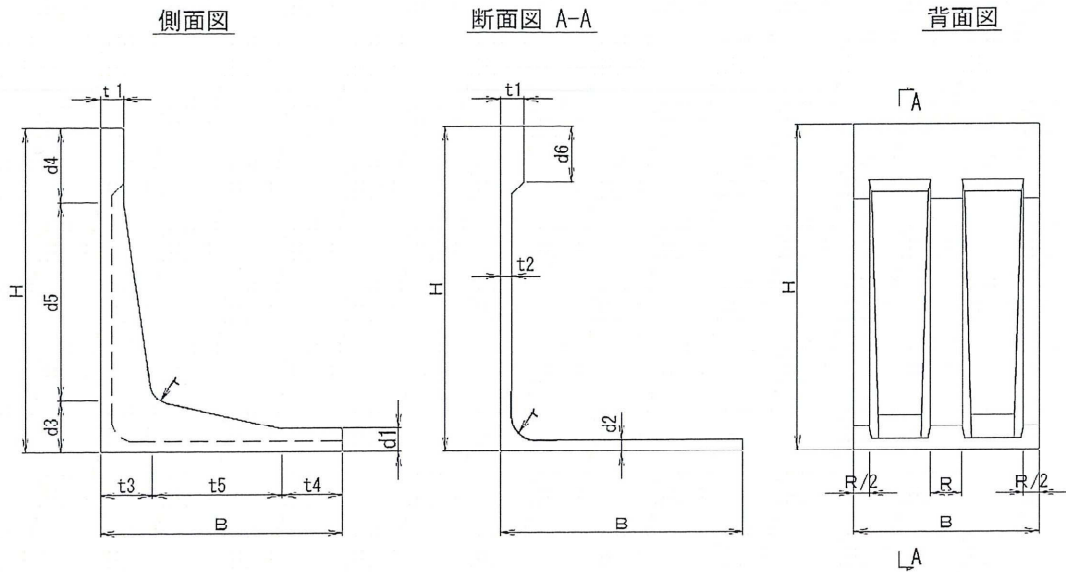
注1：呼び名の「兼」は直近上位の擁壁の型枠を兼用する場合を示します

注2： $\phi$  及び  $\phi_B \geq 30^\circ$  の場合の根入れ深さ Df は、35cm 以上かつ見え高さの 15 / 100 以上とすることができます。

注3：製品高さ 3,250 ~ 4,000 までの規格は、 $\phi_B \geq 30^\circ$  の場合でも使用することができます。

注4：製品高さ 4,250 は 4,500 の規格の頭詰めが標準となります。

## 製品規格寸法 $\phi = 30^\circ$ 以上用



■ HTタイプ：比較的良質地盤 裏込め土の内部摩擦角  $\phi = 30^\circ$  以上用（国都防第88号）  
 設計水平震度：HTⅢ大地震  $kh = 0.25$

呼び名 <sup>(注1)</sup>	製品高さ H	底版幅 B	R	t1	t2	t3	t4	t5	d1	d2	d3	d4	d5	d6	r	参考質量 (kg)
HT3250	3,250	2,100	340	250	120	520	250	1,330	250	120	520	800	1,930	600	250	5,550
HT3250	3,250	2,250	340	250	120	560	300	1,390	250	120	560	550	2,140	350	250	5,870
HT3500	3,500	2,250	340	250	120	560	300	1,390	250	120	560	800	2,140	600	250	6,170
HT3750	3,750	2,400	350	250	120	590	350	1,460	250	125	590	800	2,360	600	250	6,870
HT3750 兼	3,750	2,500	350	250	120	625	300	1,575	250	125	625	550	2,575	350	250	7,220
HT4000	4,000	2,500	350	250	120	625	300	1,575	250	125	625	800	2,575	600	250	7,520
HT4250	4,250	2,650	350	250	120	660	350	1,640	250	125	660	800	2,790	600	250	8,580
HT4250 兼	4,250	2,800	390	250	130	670	350	1,780	300	130	670	750	2,830	350	300	9,080
HT4500	4,500	2,800	390	250	130	670	350	1,780	300	130	670	1,000	2,830	600	300	9,380
HT4750	4,750	2,900	390	250	130	705	350	1,845	300	130	705	1,000	3,045	600	300	10,150
HT4750 兼	4,750	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	750	3,265	350	300	10,610
HT5000	5,000	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	1,000	3,265	600	300	10,910

注1：呼び名の「兼」は直近上位の擁壁の型枠を兼用する場合は示します。



## 製品規格寸法 $\phi = 25^\circ$ 以上用

- HWタイプ：一般的な地盤 裏込め土の内部摩擦角  $\phi = 25^\circ$  以上用（国都防第17号）  
設計水平震度：HWⅢ大地震  $kh = 0.25$

呼び名 <sup>(注1)</sup>	製品高さ H	底版幅 B	R	t1	t2	t3	t4	t5	d1	d2	d3	d4	d5	d6	r	参考質量 (kg)
HW3250	3,250	2,450	340	250	120	520	600	1,330	250	120	520	800	1,930	600	250	5,840
HW3250 兼	3,250	2,600	340	250	120	560	650	1,390	250	120	560	550	2,140	350	250	6,150
HW3500	3,500	2,600	340	250	120	560	650	1,390	250	120	560	800	2,140	600	250	6,450
HW3750	3,750	2,750	350	250	120	590	700	1,460	250	125	590	800	2,360	600	250	7,160
HW3750 兼	3,750	2,900	350	250	120	625	700	1,575	250	125	625	550	2,575	350	250	7,550
HW4000	4,000	2,900	350	250	120	625	700	1,575	250	125	625	800	2,575	600	250	7,850
HW4250 <sup>(注2)</sup>	4,250	3,000	390	250	130	670	550	1,780	300	130	670	750	2,830	350	300	9,270
HW4500	4,500	3,000	390	250	130	670	550	1,780	300	130	670	1,000	2,830	600	300	9,570
HW4750	4,750	3,000	390	250	130	705	450	1,845	300	130	705	1,000	3,045	600	300	10,240
HW4750 兼	4,750	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	750	3,265	350	300	10,610
HW5000	5,000	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	1,000	3,265	600	300	10,910

注1：呼び名の「兼」は直近上位の擁壁の型枠を兼用する場合は示します。  
注2：呼び名HW4250は呼び名HW4500の規格の頭詰めになります。



## 安定性に優れた擁壁

### 基礎地盤の必要な許容応力度

#### ■ HTタイプ：比較的良質地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi = 30^\circ$ 以上用（国都防第88号）

HTタイプの諸条件		
裏込め土の土質	$\gamma_t = 16 \sim 19 \text{ kN/m}^3 \quad \phi \geq 30^\circ$	
積載荷重（雪荷重含む）	$q = 10 \text{ kN/m}^2$	$q = 15 \text{ kN/m}^2$
地震動のタイプ	HTⅢ大地震 $kh = 0.25$	
基礎地盤の土質	$\phi_B \geq 30^\circ$	$\phi_B \geq 30^\circ$
呼び名 <sup>(注1)</sup>	基礎地盤の必要な許容応力度 ( $\text{kN/m}^3$ ) <sup>(注2)</sup>	
HT3250	160	170
HT3250 兼	150	160
HT3500	170	185
HT3750	180	195
HT3750 兼	170	185
HT4000	190	205
HT4250	200	220
HT4250 兼	190	205
HT4500	210	230
HT4750	225	245
HT4750 兼	220	235
HT5000	240	255

注1：呼び名の「兼」は直近上位の擁壁の型枠を兼用する場合を示します。

注2：大臣認定における標準品の許容応力度に「短尺」製品の増加分を考慮した「長期」の値です。

#### ■ HWタイプ：一般的な地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi = 25^\circ$ 以上用（国都防第17号）

HWタイプの諸条件		
裏込め土の土質	$\gamma_t = 16 \sim 19 \text{ kN/m}^3 \quad \phi \geq 30^\circ$	
積載荷重（雪荷重含む）	$q = 10 \text{ kN/m}^2$	
地震動のタイプ	HWⅢ大地震 $kh = 0.25$	
基礎地盤の土質	$\phi_B \geq 25^\circ$	$\phi_B \geq 30^\circ$
呼び名 <sup>(注1)</sup>	基礎地盤の必要な許容応力度 ( $\text{kN/m}^3$ ) <sup>(注2)</sup>	
HW3250	165	
HW3250 兼	155	
HW3500	175	
HW3750	190	
HW3750 兼	180	
HW4000	200	
HW4250 <sup>(注3)</sup>	—	200
HW4500	—	220
HW4750	—	240
HW4750 兼	—	240
HW5000	—	265

注1：呼び名の「兼」は直近上位の擁壁の型枠を兼用する場合を示します。

注2：大臣認定における標準品の許容応力度に「短尺」製品の増加分を考慮した「長期」の値です。

注3：製品高さH4250はH4500の規格の頭詰めが標準となります。



## 築造仕様

### ① 一般的注意事項

ハイ・タッチウォールは、重量構造物です。したがって、擁壁背面及び基礎地盤の土質条件により、施工方法が異なりますので、以下の事項に注意し確認して下さい。

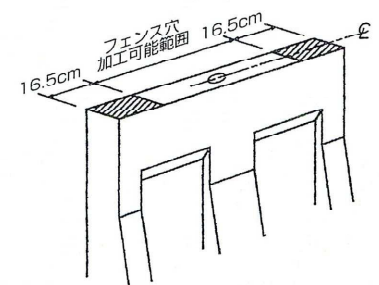
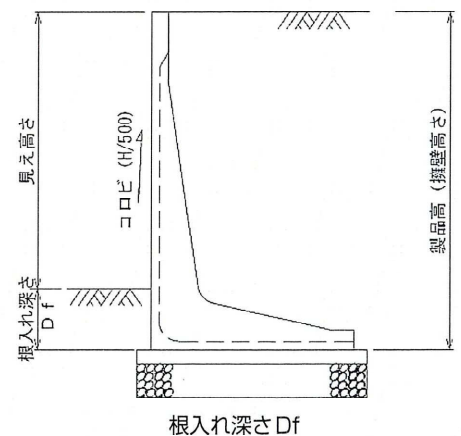
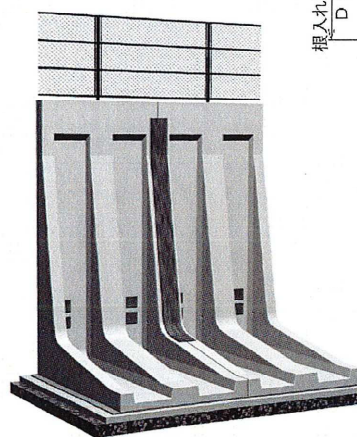
- ①本擁壁は、設計载荷重の大きさ、地震時の水平震度、土質条件により、タイプが異なります。施工箇所の条件を十分把握し、適合するものを選定して下さい。
- ②基礎地盤の許容応力度は、規定されている値以上の支持力を確保して下さい。
- ④  $\phi = 25^\circ$  以上用は、擁壁背面の「裏込め土」の内部摩擦角  $\phi$  と、擁壁底面下にある「基礎地盤」の内部摩擦角  $\phi_B$  を分けていますのでご確認下さい。
- ⑤「裏込め土」が  $\phi \geq 30^\circ$  かつ「基礎地盤」の  $\phi_B \geq 30^\circ$  の場合又は岩盤の場合は、根入れ深さを浅くすることができます。
- ⑥排水側溝工事、のり面保護工事、山止め工事、杭地業工事、支持力増強のための地盤改良工事等については、宅地造成工事の設計者及び施工者の責任のもと実施されるものとしています。
- ⑦隅角部は、現場打ちコンクリートで施工して下さい。
- ⑧擁壁前面はH/500の勾配を有していますので、施工時に考慮して下さい。

### ② 根入れ深さ

根入れの深さは、宅地造成等規制法施行令第8条4項に則り、擁壁を岩盤に接着して設置する場合を除き次の通りとして下さい。

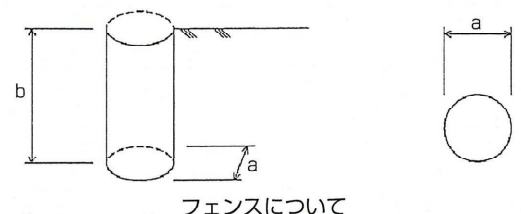
裏込め土 $\phi$ と基礎地盤 $\phi_B$	根入れ深さ Df
$\phi$ 及び $\phi_B \geq 25^\circ$	Df = 45cm 以上 かつ 見え高さの 20 / 100 以上
$\phi$ 及び $\phi_B \geq 30^\circ$	Df = 35cm 以上 かつ 見え高さの 15 / 100 以上

擁壁高さ H	根入れ深さ Df (mm) 裏込め土と基礎地盤の土質	
	$\phi$ 及び $\phi_B \geq 25^\circ$	$\phi$ 及び $\phi_B \geq 30^\circ$
3,250	550	430
3,500	590	460
3,750	630	490
4,000	670	530
4,250	—	560
4,500	—	590
4,750	—	620
5,000	—	660



### ③ フェンスの取り扱い

- ①ハイ・タッチウォールにフェンスを取り付ける場合は、予め工場で天端にフェンス支柱を埋込む穴を配置します。
- ②フェンス支柱埋込み穴の深さは  $b = 30\text{cm}$ 、断面の投影幅は  $a = 8\text{cm}$  以下、支柱の設置位置は、擁壁の天端厚さの中心線上で、擁壁両端から 16.5cm 以上の部分は設置可能です。
- ③フェンスの種類は、自重の小さいネットフェンス、歩道用の防護柵として下さい。



# 施工性に優れています

## 施工例手順

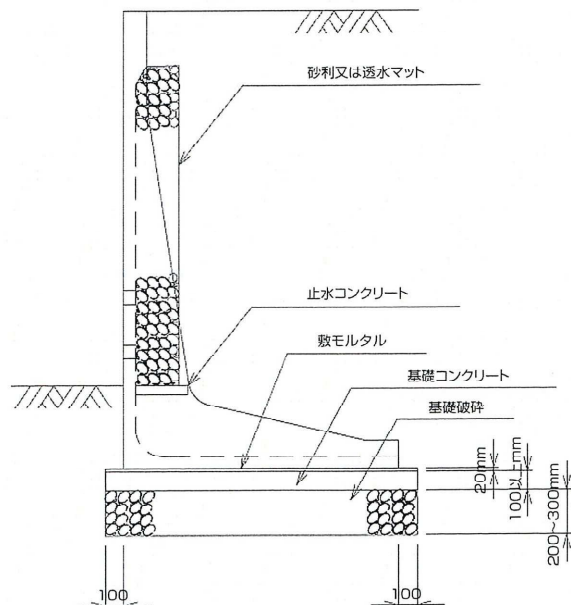
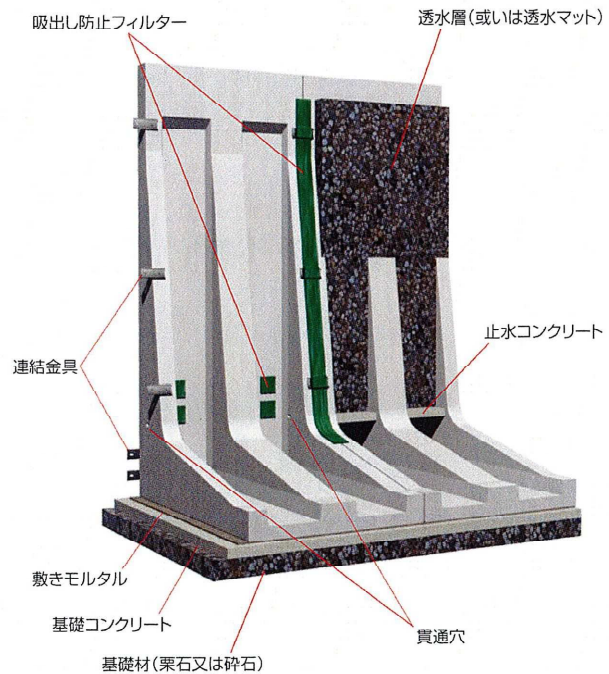
### ④基礎及び敷モルタルについて

- ①基礎材の厚さは、基礎コンクリート10cm以上、基礎砕石20cm以上として下さい。
- ②据付に際し、基礎コンクリート面と擁壁底版との間に隙間が生じないように、厚さ2cm程度の良く締固められた敷モルタルで不陸を処理して下さい。

### ⑤透水層について

- ①たて壁の背面には、砂利又は宅地擁壁用透水マットによる透水層を設けて下さい。
- ②擁壁背面の土砂が目地及び水抜き穴から流出することを防止するために、耐食性の吸出し防止フィルターを設置して下さい。
- ③透水層の下部には止水コンクリートを設置して下さい。

### ⑥施工フロー



# 土地の有効利用を図る

## 施工歩掛

単位：10m当り

呼び名 HT		3250	3250 兼	3500	3750	3750 兼	4000	4250	4250 兼	4500	4750	4750 兼	5000
擁壁高さ：H	m	3.25	3.25	3.50	3.75	3.75	4.00	4.25	4.25	4.50	4.75	4.75	5.00
日当り施工量	m	30						24					
ハイ・タッチウォール	個	5											
世話役	人	0.33	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
ブロック工	人	0.33	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
普通作業員	人	1.00	1.00	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
普通作業員	人	1.00	1.00	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
ラフテレーンクレーン賃料	日	0.33	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
ラフテレーンクレーンの規格		25tf吊り						35tf吊り					
雑工種	基礎碎石	60						66					
	基礎コンクリート	74						108					
諸雑費	%	20	20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21

注1：本歩掛は、「国土交通省土木工事積算基準 平成24年度」を参考とし、ハイ・タッチウォール標準施工に適用されます。

注2：現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮して下さい。

注3：本歩掛は、運搬距離10m程度までの個運搬を含みますが、床付け工、埋戻し、残土処理は含みません。

注4：雑工種は、労務費、賃料及び機械運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上します。

【基礎碎石】=敷設、転圧労務、材料搬入、締め機械運転経費、砕石等材料費。標準敷均し厚は、20cm以下標準とします。

【基礎コンクリート】=打設、養生、型枠製作・設置・撤去労務、シュート・ホッパー・パイプ・タ損料、コンクリート、養生材、型枠材料費。

注5：ラフテレーンクレーンは、設置場所とクレーンまでの作業半径等現場条件により、使用する大きさが異なる場合があります。

## 使用材料数量表

### ■ HTタイプ：比較的良質地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi = 30^\circ$ 以上用 (国都防第88号) 数量表

単位：10m当り

呼び名 HT		3250	3250 兼	3500	3750	3750 兼	4000	4250	4250 兼	4500	4750	4750 兼	5000	
擁壁高さ：H	m	3.25	3.25	3.50	3.75	3.75	4.00	4.25	4.25	4.50	4.75	4.75	5.00	
底幅幅：B	m	2.10	2.25	2.25	2.40	2.50	2.50	2.65	2.80	2.80	2.90	3.00	3.00	
使用材料	基礎碎石	m <sup>3</sup>	4.6	4.9	4.9	5.2	5.4	5.4	5.7	6.0	6.0	6.2	6.4	6.4
	基礎コンクリート	m <sup>3</sup>	2.3	2.5	2.5	5.6	2.7	2.7	2.9	3.0	3.0	3.1	3.2	3.2
	基礎コンクリート型枠	m <sup>2</sup>	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	敷モルタル (2cm厚)	m <sup>3</sup>	0.4	0.5	0.5	4.8	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	止水コンクリート	m <sup>3</sup>	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	止水コンクリート型枠	m <sup>2</sup>	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	透水路 (碎石)	m <sup>3</sup>	4.7	4.6	5.0	5.3	5.2	5.6	5.6	5.8	6.2	6.5	6.3	6.8
	吸出し防止フィルター	m <sup>2</sup>	4.2	4.2	4.4	4.7	4.6	4.9	5.1	5.1	5.4	5.6	5.6	5.8

### ■ HWタイプ：一般的な地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi = 25^\circ$ 以上用 (国都防第17号) 数量表

単位：10m当り

呼び名 HW		3250	3250 兼	3500	3750	3750 兼	4000	4250	4250 兼	4500	4750	4750 兼	5000	
擁壁高さ：H	m	3.25	3.25	3.50	3.75	3.75	4.00	4.25	—	4.50	4.75	4.75	5.00	
底幅幅：B	m	2.45	2.60	2.60	2.75	2.90	2.90	3.00	—	3.00	3.00	3.00	3.00	
使用材料	基礎碎石	m <sup>3</sup>	5.3	5.6	5.6	5.9	6.2	6.2	6.4	—	6.4	6.4	6.4	
	基礎コンクリート	m <sup>3</sup>	2.7	2.8	2.8	3.0	3.1	3.1	3.2	—	3.2	3.2	3.2	
	基礎コンクリート型枠	m <sup>2</sup>	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	—	2.0	2.0	2.0	
	敷モルタル (2cm厚)	m <sup>3</sup>	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	—	0.6	0.6	0.6	
	止水コンクリート	m <sup>3</sup>	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	—	0.1	0.1	0.1	
	止水コンクリート型枠	m <sup>2</sup>	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	—	0.3	0.3	0.3	
	透水路 (碎石)	m <sup>3</sup>	4.7	4.6	5.0	5.3	5.2	5.6	5.6	—	6.2	6.5	6.3	6.8
	吸出し防止フィルター	m <sup>2</sup>	4.2	4.2	4.4	4.7	4.6	4.9	5.1	—	5.4	5.6	5.6	5.8

# 一般社団法人 ハイタッチセンター会員一覧

会社名	所在地	TEL	FAX
會澤高圧コンクリート株式会社	〒053-0021 北海道苫小牧市若草町3-1-4独楽ビル	0144-36-3131	0144-36-5750
一沢コンクリート工業株式会社	〒028-0041 岩手県久慈市長内町36-8-18	0194-52-1811	0194-53-2233
岩手ハネダコンクリート株式会社	〒023-1134 岩手県奥州市江刺区玉里字上上野121-1	0197-36-3311	0197-36-2187
インフラテック株式会社	〒890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎2-7-25	099-252-9911	099-259-4100
大野コンクリート株式会社	〒819-0036 福岡県福岡市西区吉武61-1	092-874-5678	092-874-5656
岡山コンクリート工業株式会社	〒703-8213 岡山県岡山市東区藤井288-1	086-279-0551	086-279-2918
株式会社技建	〒901-1207 沖縄県南城市大里字古堅1246	098-945-2787	098-945-1181
キョクトウ高宮株式会社	〒732-0052 広島県広島市東区光町2-6-31	082-261-8381	082-261-1249
株式会社キョウリツ	〒904-1111 沖縄県うるま市石川東恩納1406-99	098-965-6321	098-965-6149
共和コンクリート工業株式会社	〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西3-28札幌エルプラザ11F	011-736-0181	011-736-0187
熊本不二コンクリート工業株式会社	〒861-1214 熊本県菊池市泗水町田島2444	0968-38-3131	0968-38-4137
ケイコン株式会社	〒613-0903 京都府京都市伏見区淀本町225	075-631-3231	075-631-9588
興建産業株式会社	〒183-0026 東京都府中市南町5-38-3	042-365-3331	042-365-3339
コーアツ工業株式会社	〒890-0008 鹿児島県鹿児島市伊敷5-1-5	099-229-8181	099-220-5338
株式会社鋼商	〒059-1986 北海道勇払郡安平町追分弥生539-2	0145-25-3111	0145-25-3419
昭和コンクリート工業株式会社	〒500-8703 岐阜県岐阜市香蘭1-1	058-255-3333	058-255-3330
株式会社シートック	〒890-0055 鹿児島県鹿児島市上荒田町29-23	099-250-7316	099-256-0605
ゼニス羽田株式会社	〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2麹町M-SQUAREビル4F	03-3556-0464	03-3556-2405
株式会社総合開発	〒760-0033 香川県高松市丸の内11-10	087-851-9031	087-851-9034
大建コンクリート株式会社	〒879-1313 大分県杵築市山香町速見インター工業団地	0977-44-6262	0977-44-6211
株式会社武井工業所	〒315-0018 茨城県石岡町若松1-3-26	0299-24-5200	0299-24-5221
千葉築業株式会社	〒260-8666 千葉県千葉市中央区市場町3-1	043-221-7000	043-221-7221
東京セメント工業株式会社	〒193-0931 東京都八王子市台町2-15-20	042-623-7788	042-625-1777
株式会社東北ヤマックス	〒989-0822 宮城県仙台市青葉区立町27-21	022-716-6606	022-716-6608
西尾コンクリート工業株式会社	〒445-0894 愛知県西尾市上町東原1-1	0563-54-4144	0563-54-4125
日本興業株式会社	〒769-2101 香川県さぬき市志度4614-13	087-894-8130	087-894-8121
日新コンクリート工業株式会社	〒897-0002 鹿児島県南さつま市加世田武田14892	0993-53-2611	0993-52-0288
藤林コンクリート工業株式会社	〒945-1352 新潟県柏崎市大字安田2078	0257-24-3375	0257-22-6517
平和コンクリート工業株式会社	〒510-0102 三重県四日市市楠町吉崎1	059-397-3171	059-398-0001
株式会社ホクコン	〒918-8152 福井県福井市今市町66-20-2	0776-38-3800	0776-38-0255
前田ホールディングス株式会社	〒998-8611 山形県酒田市上本町6-7	0234-23-5744	0234-24-7002
株式会社マシノ	〒733-0822 広島県広島市西区庚午中1-19-23	082-507-2733	082-507-2720
丸栄コンクリート工業株式会社	〒501-6293 岐阜県羽島市福寿町間島1518	058-393-0211	058-392-9682
株式会社ミルコン	〒910-8560 福井県福井市長本町202	0776-52-8007	0776-52-8011
矢野コンクリート工業株式会社	〒470-0354 愛知県豊田市田粉町広久手614-184	0565-43-3700	0565-43-1855
株式会社ヤマウ	〒811-1102 福岡県福岡市早良区東入部5-15-7	092-872-3301	092-872-3302
株式会社ヤマックス	〒862-0950 熊本県熊本市水前寺3-9-5	096-381-6411	096-383-1654
大和コンクリート工業株式会社	〒904-2201 沖縄県うるま市字昆布1839-1	098-972-3535	098-972-4212
横江コンクリート株式会社	〒989-6312 宮城県大崎市三本木蠟ヶ袋字混内山15-1	0229-52-3935	0229-52-2321
ランデス株式会社	〒719-3192 岡山県真庭市開田630-1	0867-52-1141	0867-52-3515
リウコン株式会社	〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇1187	098-945-3778	098-945-5065

(50音順)

[お問い合わせは当社へ]

## 一般社団法人 ハイタッチセンター

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-15  
 井門神田ビル5F  
 (ケイコン株式会社東日本支店内)  
 TEL 03-5297-3071  
 FAX 03-5297-3072  
<http://www.hightouch.jp/>